

台湾の国際民間航空機関（ICAO）参加支持呼びかけ

1944年、52の国がアメリカ・シカゴにて「国際民間航空条約」に署名し、「国際民間航空機関（ICAO）」が成立しました。本部はカナダ・モントリオールにおかれ、国家間航行に関連するルール作りや技術の発展、そして国際航空運輸の発展と、関連する計画立案等が主旨とされております。

我が国は ICAO 創立時の会員国の一員で、1971年に国連を脱退し ICAO の枠組みから外れた後も、友好国の協力を通じて必要な情報を得、同組織の規定を重視して国際航行体系と足並みを揃えてきており、所管する「台北飛行情報区（(Taipei FIR)）」において航行の安全を守る為に力を尽くしております。

「台北飛行情報区」の範囲は 18 万平方海里に及び、日本・フィリピンの間、中国大陸南東部沿海を臨む位置にあります。ヒト・モノの移動は極めて頻繁で世界的な「空の要衝」であり、東アジアの空運ネットワークにおいて不可欠な存在となっております。

さて、御存知の通り、台湾と日本、北海道は近年来交流が大変活発化しております。相互往来人数も、2012年頃には 300 万人を目標に掲げていたのですが、昨年は既に 540 万人を突破、新たに 600 万人を目標に設定しております。尚、この北海道でも、当処設立時には年間 20 万人程だった台湾人観光客数は昨年 55 万人近くまで増加しております。

相互往来人数の増加は定期便の増便と密接な関係を持っております。今年 5 月、台湾-日本間の航空便は 1 日平均 100 便となっており、同航空路線がどれだけ重要であるかは言うまでもありません。

しかしながら、今も台湾は ICAO の一員になっておらず、多方面で不都合が生じております。

今後、我が国が ICAO に参加することが出来れば、国際民間航行の安全保障向上、そしてその永続的発展に大きく寄与することは間違いなく、日本、北海道の方にも更に安心して台湾に御越し頂けるようになります。

是非日本、北海道の皆様におかれましても、我が国の ICAO 参加に御支持を頂きますよう、御願ひ申し上げます。

参考までに、先日我が国の賀陳旦交通部長（日本の国交相に相当）が発表した声明文を付記致しますので、是非御高覧下さい。

2016 年 9 月 15 日

台北駐日経済文化代表処札幌分処 処長 陳桎宏

中華民國台湾交通部賀陳旦部長声明全文

台湾は国際的な安全基準に沿う形で国際民間航空機関（ICAO）への参加に積極的に取り組み、また長年世界各国と足並みをそろえつつ、共に全世界における航空運輸サービス、経済水準を高めるべく尽力して参りました。台湾の同組織参加は、国際民間航空運輸業界に於いて更に緊密な協力関係と発展をもたらし、全世界で隈なく航行の安全を確保するという同組織の希求する目標達成にも繋がるものと確信しております。

台湾は全世界の航空ネットワークにおいて不可欠です。台湾は東アジアの空運が最も盛んな地域に位置しており、国際空港評議会（ACI）によると、2015 年に台湾桃園国際空港は国際線旅客数、国際貨物取扱数で、それぞれ世界 11 位、世界 6 位となっております。同空港は東アジアで最も繁忙な空港の一つとなっており、2015 年には航空会社計 74 社が乗り入れ、

301 本もの定期航空便にてヒト・モノを輸送、世界 135 の都市と繋がっております。2015 年、台湾の所管する「台北飛行情報区域 (Flight Information Region)」では、約 153 万回航空管制サービスが利用され、5800 万人の送客サービスが行われる等、世界の空運ネットワークにおいて既に不可欠な存在となっております。

全世界で隈なく航行の安全を確保するという目標に引き続き取り組んで参ります。40 年来、台湾の民間航空監督機関は、迅速性、経費及び実際の取り組みにおいて、諸外国に劣らない努力、関連コスト負担を行って来ており、ICAO が求める水準を満たした航行の安全基準策定にも力を尽くしております。ICAO が重視する航行の安全・保全、航空サービス、環境保護、航空業経済等各種テーマを概観すると、全て世界各国が密に連携することによって、今まさに直面している多元化という挑戦に対応する必要があるのです。台湾は確かに ICAO に参加する必要性が御座います。

台湾の ICAO 参加成否は国際社会の変わらぬ御支持にかかっております。長年来のヨーロッパ、アメリカ、そして友好国の御理解、御支持が得られ、台湾はついに 2013 年に ICAO 第 38 回大会へ招かれております。台湾は再び専門的により大きな貢献が出来るよう、ICAO の会議や枠組み、活動に、参加出来ることを強く願っております。国際社会の一員として、我々には地域、全世界の航行の安全につき保障をするという責任が御座いますし、全世界の民間航空の発展、人類の福祉向上に力を尽くします。台湾は自らの民間航空業の発展の経験、積み重ねられた知識と能力を他国と分かち合い、ともに安全を追求し、国際民間航空の秩序ある永続的な発展を希求致します。

2016 年 9 月吉日

中華民國台湾 交通部部長 賀陳旦